

授業科目	単 位	担当教員	講義題目	開講学期
道徳教育の研究（文系）	2	池田全之	道徳教育論	第1学期 （連続講義）

〔授業目的と概要〕

本講義の目的は、現在中学校で行われている道徳教育のあらましを明らかにし、道徳の授業を支えている基本的事項、および道徳教育の可能性について考えてみることである。

〔学習の到達目標〕

道徳の授業を支えている基本的事項を理解して、道徳の授業の指導案を構想できることを目標とする。

〔授業内容・計画〕

講義の計画は以下のとおりである。

1. 基本型の道徳の指導案について
 - (1) 道徳の授業は学習指導要領においてどのように規定されているのか
 - (2) 基本型の指導案の構造
2. 反面教師としての「修身」の授業
 - (1) 明治初期の道徳教育について
 - (2) 教育勅語体制下の「修身」による道徳教育について
3. コールバーグによるディスカッションを取り入れた道徳の指導案について
 - (1) 児童・生徒の道徳性の発達について
 - (2) コールバーグ法の概要と、それに基づく指導案の構造
4. 現代の道徳教育を考える－思想史の観点から
 - (1) 人はどうして悪さをするのか
 - (2) 教室を支配する心象風景について
5. 構成的グループエンカウンターを取り入れた道徳の授業について

〔成績評価〕

レポート

〔教科書〕

沼田裕之他編『道徳教育21の問い』，福村出版，2009年

〔参考書〕

講義の中で随時指示する。